

協会の活動

平成29年度 第1回職員研修会（研修委員会主催）

- 期日：平成29年10月24日（火）
- 会場：パーティとちぎ男女共同参画センター
パーティホール（宇都宮市）

研修委員会による「第1回職員研修会」が10月24日（火）にパーティ（とちぎ男女共同参画センター）で開催され、県内各地から41施設133名の職員が参加致しました。

研修委員会委員長の開会挨拶の後、午前の部は7事例、午後の部は9事例の発表が行われました。

【事例発表】

- ①老健施設での看取りを考える
～看取りケアを実践して～【あそヘルホス】
- ②認知症ケア「ユマニチュード」の効果
～ユマニチュードを実践したスタッフの意識の変化
【同仁苑】
- ③「それって誰の仕事？」
～職員の当事者意識向上の取り組み～
【ヴィラフォーレスタ(森の家)】
- ④褥瘡評価「ブレーデンスケール」の導入
～研修会実施後の意識調査の結果から見えた課題～
【野沢の里】
- ⑤「固定チームケアを導入した業務改善」
～ゼロから始まる固定チームケア～【にしかた】



- ⑥安心してトイレにかかりたい
～その人を知ることによって変えられる事が見えてくる～
【春祺荘】
- ⑦前立腺がん末期利用者と家族への看取り支援
～揺れ動く家族の心に寄り添うケアの大切さ～
【マロニエ苑】
- ⑧「音読」による認知機能改善の試み【いずみ】
- ⑨メイクアップでメンタルアップ
～入所者に最高の輝きを～【いずみ】
- ⑩ADL向上による服薬に頼らない排便コントロールの
取り組み【グリーンヒルズ21】
- ⑪ストレスフリーな施設を目指して【さくら野】
- ⑫笑ってつなげよう健康寿命！【陽南】
- ⑬本人の希望に沿った個別リハビリテーション
【高根沢シルバーホーム】
- ⑭ご利用者が自由に生活リハビリが出来る環境作りの試み
～レクリエーション感覚でリハビリを～
【かみつが】
- ⑮通所リハビリテーションでの取り組み
～創作活動を通じて～【お達者倶楽部】
- ⑯経口維持サービスシステムの構築
～他職種協働し、嚥下評価からリハビリ・日常のケア
により誤嚥を予防する～【宇都宮シルバーホーム】
今回の会場であるパーティホールは、事例発表中も
聴衆席の照明が保たれ、発表者と聴衆者の表情がお互い
確認しやすい空間が作られていました。その効果も
相まって、活発な質疑応答が見受けられました。
各発表者は分かりやすく要点をまとめており、業務中
の気づきをそのままにせず、改善を図ることで「より良
いケア」が提供できるかもしれないという向上心が伝わ
る内容でした。また、今回はパワーポイントを活用した
発表だけでなく、実際にデモンストレーションを織り交
ぜ、会場全体を巻き込んだ発表も見受けられました。
福祉サービスの多様化が進む中、介護老人保健施設
の役割を考えながら、多職種共同で質の高いケアを提
供できるように、各施設が真剣に取り組んでいる姿が
感じられる有意義な研修会でした。

